

News Letter No. 134

2026.3 発行



公益財団法人
岡山工学振興会 編

〒700-8530 岡山市北区津島中3丁目1番1号 岡山大学新技術研究センター内

Tel&Fax: 086-255-8311 E-mail: ofst@okayama-u.ac.jp

URL: <https://ofst.or.jp/>

令和8年度は、学術研究助成の特別研究3件、一般研究10件、萌芽研究5件の助成を計画しています。要望の多い学術研究助成事業を充実し、今後とも財団の使命を果たしてまいりたいと思います。皆様からの積極的な応募をお待ちしています。

第38回（令和8年度）学術研究助成等公募要項

I. 学術研究の助成

1. 目的

この助成は、大学と産業界の連携を図りつつ、岡山県内における理工学に関する学術ならびに先端技術の向上を目指した研究を助成し、その振興を図ることにより、岡山県における科学技術社会の発展に寄与することを目的としています。

2. 研究助成の対象

理工学分野の基礎及び応用研究であって、研究者が一人で行うもの、又は二人以上の研究者もしくは研究者と企業が同一の研究課題について共同で行うもので、本年度内に一定の成果が期待されるもの。

3. 研究助成種目

研究の目的・性格に応じて、次の研究種目を設けています。

(1) 萌芽研究

研究者自身が、将来の中心課題として取り組む、優れた着想と発展性を備えた、学術的あるいは先端技術に関する萌芽的研究

(2) 一般研究

特色ある成果を挙げている研究者が、新しい発想によりさらに学会・社会で認知される水準を目指して取り組む、学術的あるいは先端技術に関する研究

(3) 特別研究

この研究助成は「内山勇三科学技術賞」と称し、平成元年に内山工業株式会社元会長・故内山勇三氏の寄附金により設けられたもので、岡山県内において特色ある先導的成果を挙げた研究者が、その成果を特許取得または実用化が見込まれる内容へと発展させることを目的とした、先端技術に関する研究

4. 研究助成件数と助成額

- | | | |
|----------|----------|-------------------|
| (1) 萌芽研究 | 4～5 件程度 | (1 件 30～50 万円程度) |
| (2) 一般研究 | 8～10 件程度 | (1 件 70～100 万円程度) |
| (3) 特別研究 | 3 件 | (1 件 200 万円程度) |

5. 研究助成の申請

(1) 応募資格

- ① 理工学分野の基礎及び応用研究に従事している研究者又は研究グループで岡山県下の大学、高専及び公的研究機関に所属する者
- ② 大学院博士後期課程又は相当する博士課程に在学中の者は、萌芽研究に限り応募することができます。
- ③ 助成対象制限事項
 - ・ 過去に特別研究の助成を受けた者は、特別研究助成に応募できません。
 - ・ 過去5年以内に特別研究の助成を受けた者は、一般研究助成に応募できません。
 - ・ 過去5年以内に一般研究の助成を受けた者は、一般研究助成に応募できません。

(2) 申請手続

申請者は研究の目的・性格・必要性等を十分に考慮したうえで適切な種目を選び、「研究助成申請書（様式1A）」を作成し、所属研究機関の代表者に提出し、その推薦を受けてください。研究機関の代表者は、申請書類を研究種目ごとに取りまとめ、下記7に提出してください。

(3) 申請書類

申請用紙は、当財団のホームページからダウンロードできます。

また、財団事務局まで連絡いただければ、電子データの様式をお送りします。

応募に当たって、以下のことに留意願います。

- ① 研究の目的、必要性、計画の概要の焦点を絞ること。
- ② 従来の研究あるいは手段・方法などに対する優位性が具体的（できれば定量的）に示すこと。
- ③ 専門の周辺の研究者にも研究の概要が理解できるよう平易に記述すること。
- ④ 大学院博士後期課程又は相当する博士課程に在学中の者が申請する場合は、指導教員の推薦書（様式自由）を提出のこと。

専門用語を多用しすぎて専門領域の研究者しか理解できない内容や、目標の範囲が不明瞭な申請書が見受けられますのでご注意ください。

6. 提出期限 令和8年4月8日（水）必着

7. 提出先・お問い合わせ先

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号 岡山大学新技術研究センター内
公益財団法人 岡山工学振興会事務局（持参又は郵送願います。）

Tel・Fax：（086）255-8311 E-mail：ofst@okayama-u.ac.jp

URL: <https://ofst.or.jp/>

8. 選考結果

- (1) 選考委員会で選考し、理事会の議を経て決定します。申請者及び推薦者に対し、採否、助成金額、交付の期日と方法を通知します。

交付予定時期 令和8年7月中旬

- (2) 採否決定経緯の問い合わせには応じかねます。
- (3) 申請書類等は、原則として返却いたしません。

9. 研究の実施期間

研究実施期間は、原則として交付決定日から令和9年3月31日までとします。

10. 助成金の使途

申請課題以外の目的に使用することはできません。

研究代表者が病気等で長期にわたって研究ができなくなる場合、又は研究者が他の研究機関等へ異動される場合は、財団にご連絡ください。

11. 研究終了後の手続

研究者は、研究実績報告書を研究終了後、提出してください。その詳細は採択時にお知らせします。

12. 研究成果の公表

- (1) 研究成果を公表する場合は、当財団より助成を受けた旨を下記の財団名を参考にして明記してください。

和文例 : 公益財団法人 岡山工学振興会

英文例 : The Okayama Foundation for Science and Technology

- (2) 助成を受けた研究者は、当財団の研究報告会で、研究成果の発表をお願いする場合があります。研究報告会では、岡山県内の理工学の発展又は先端技術の向上と研究成果の結びつきについて、具体的に述べてください。

II. 産学官連携研究会への助成

1. 目的

岡山県内の大学と産業界の連携を図りつつ、理工学に関する学術ならびに先端技術に関する研究を助成し、その振興を図ることにより、岡山県における科学技術社会の発展に寄与することを目的とします。

2. 助成対象の研究会等

理工学分野の基礎及び応用研究に従事している研究者又は研究グループで岡山県下の大学、高専、公的研究機関、行政及び企業に所属する者で構成された研究会

3. 事業の範囲

研究会等が行う事業の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 理工学に関する研究成果の普及に関するもの
- (2) 先端技術研究に関する情報の提供に関するもの
- (3) 理工学に関する産学交流事業に関するもの
- (4) 理工学教育の振興に関するもの
- (5) その他財団の目的を達成するために必要なもの

4. 申請手続

研究会等を設置する場合は、「研究会等設置申請書(様式5A)」及び「研究会等助成申請書(様式6A)」を財団事務局に提出してください。

申請用紙は、当財団のホームページからダウンロードできます。

また、財団事務局まで連絡いただければ、電子データの様式をお送りします。

5. 提出期限

令和8年4月末日

6. 提出先・お問い合わせ先

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号 岡山大学新技術研究センター内
公益財団法人 岡山工学振興会事務局 (ご持参又はご郵送願います。)

Tel・Fax : (086)255-8311、E-mail : ofst@okayama-u.ac.jp

URL: <https://ofst.or.jp/>

7. 選考結果

選考委員会で選考し、申請者に採否、助成金額及び交付期日と方法を通知します。

8. 研究会等終了後の手続

研究会等の代表者は、毎会計年度終了後速やかに当該年度の研究会等事業収支報告書を提出してください。

令和8年度学術交流推進事業公募要項

1. 目的

この助成は、岡山県内における理工学に関する学術ならびに先端技術の向上を目指した優れた学術研究及び学術集会開催等を助成し、その振興を図ることにより、岡山県における科学技術の発展に寄与することを目的としています。

2. 研究助成等の対象

理工系の基礎及び応用研究又は、これらに関わる学術集会等

3. 研究助成等の種目

(1) 学術研究推進助成

特色ある成果を挙げている研究者等がさらに高水準を目指して取り組む学術的あるいは先端技術に関する研究

(2) 学術集会開催推進助成

岡山県内の理工学の発展と先端技術の向上に寄与する学術集会、学術講演会

4. 研究助成等の費用

学術研究推進助成等申請書の研究内容等に賛同する企業等の寄附金をもって充てます。

5. 研究助成件数及び金額

概ね10件程度（総額500万円程度）

6. 研究助成の申請

(1) 応募資格

理工学分野の基礎及び応用研究に従事し、岡山県内の大学・高専等の教育研究機関に所属する研究者または研究グループ。

(2) 申請手続

申請者は、研究の目的、性格、必要性等を十分に考慮し、学術研究推進助成申請書（様式1-1）又は学術集会開催推進助成申請書（様式1-2）を作成のうえ、下記8に郵送又はメールで提出してください。

(3) 申請書類

申請用紙は、当財団のホームページからダウンロードできます。また、財団事務局に連絡いただければ、電子データの様式をお送りします。

(4) 受付開始

令和8年4月1日から

7. 提出期限 毎月月末

8. 提出先・お問合せ先

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1-1 公益財団法人 岡山工学振興会事務局

TEL・FAX : (086)255-8311 E-mail : ofst@okayama-u.ac.jp

9. 選考結果

選考委員会にて審査のうえ、申請者及び寄附者に採否・助成金額・交付期日等を通知します。

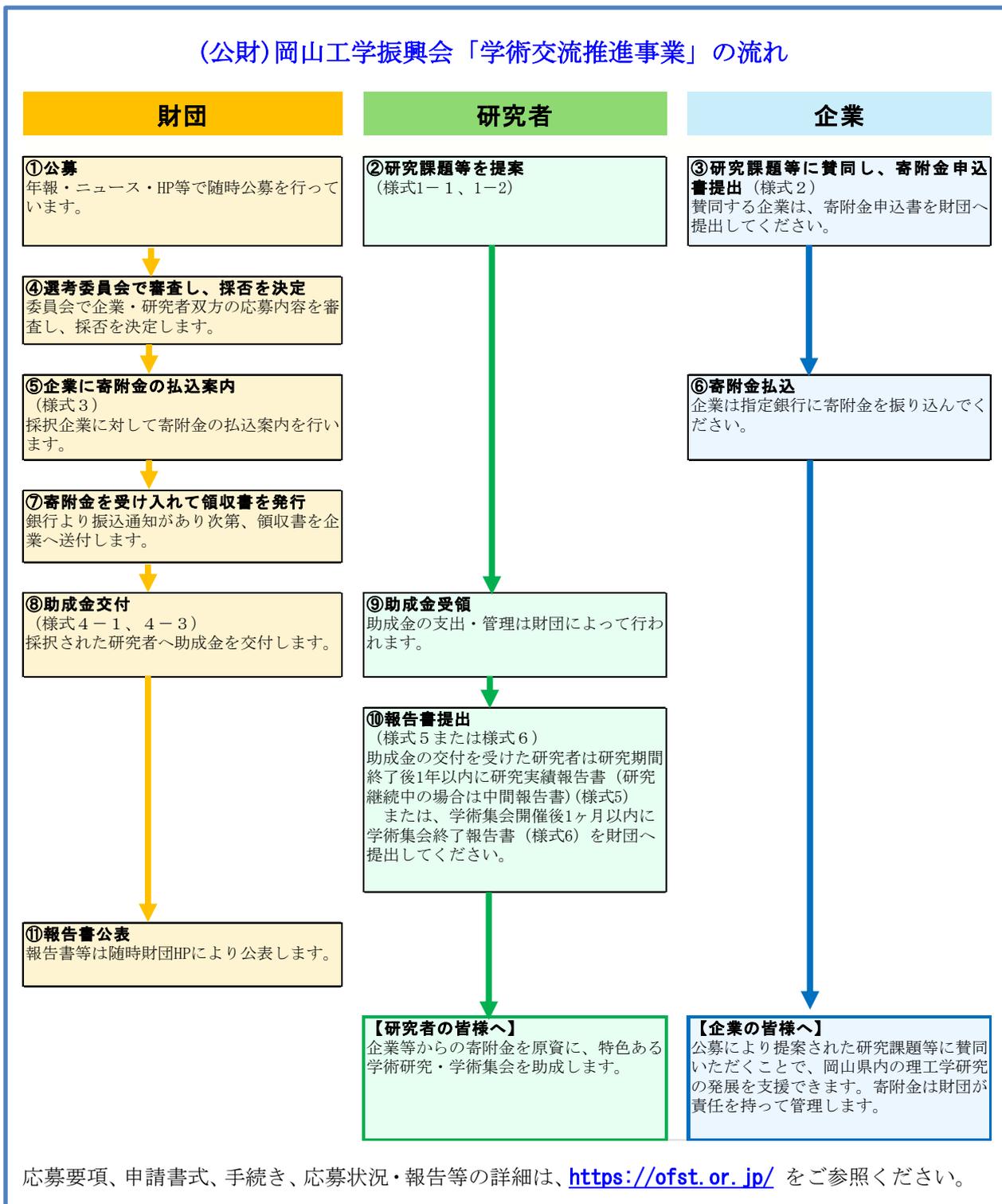
10. 研究・集会終了後の手続

助成期間終了後 1 年以内に、学術研究推進助成実績報告書（研究継続中の場合は中間報告書）（様式 5）又は学術集会終了報告書（様式 6）を提出してください。

11. 研究成果等の公表

研究成果等は、財団 HP にて公表します。

(公財)岡山工学振興会「学術交流推進事業」の流れ



応募要項、申請書式、手続き、応募状況・報告等の詳細は、<https://ofst.or.jp/> をご参照ください。

《 (公財) 岡山工学振興会賛助会員の募集について 》

(公財)岡山工学振興会は、平成元年 2 月 3 日に設立された特定公益増進法人です。本財団は、理工学に関する研究を振興するとともに、先端技術の向上を目指した大学と産業界等との連携を図り、もって学術および技術開発の進展に寄与することを目的としています。

本会の趣旨にご賛同のうえ、是非とも賛助会員をお引き受け頂き、ご支援賜りたくお願い申し上げます。

平成 27 年度から賛助会費については、定款の変更に伴い、寄附金控除の対象となります。

- (1) 理工学に関する研究の助成と研究者の要請援助
- (2) 理工学に関する研究調査およびその斡旋
- (3) 理工学に関する研究成果の普及
- (4) 先端技術研究に関する情報の収集および提供
- (5) 理工学に関する教育研究機関と地域社会との連携交流事業

当財団が今後事業活動の発展、充実を図っていくためには、基金の充実を緊急の課題と致しております。このため、広く関係各位のお力添えを賜りたく、当財団の定款第 47 条に定めている賛助会員の募集とその充実を計画いたしております。

♣ 申し込み手続き

ホームページよりダウンロード、または (公財)岡山工学振興会事務局までご連絡いただければ、「賛助会員申込書」をご送付します。

電話/Fax : (086)255-8311 e-mail : ofst@okayama-u.ac.jp

賛助会費 (年額)

- | | | | |
|----------|-----|----------|-------|
| (1) 法人会員 | 1 口 | 50,000 円 | 1 口以上 |
| (2) 個人会員 | 1 口 | 5,000 円 | 1 口以上 |

上記の他、賛助会員に有意義な事業の企画について、各位からご提言賜れば幸いです。

※詳しくは当財団ホームページ <https://ofst.or.jp/> をご覧ください。

編集後記

(公財)岡山工学振興会 代表理事 則次 俊郎

岡山工学振興会は、平成元年の設立以来、研究助成や産学官連携研究会への助成を主な業務とし、これまでに 360 件余りの研究助成を行ってきました。これらの研究成果は当財団の年報で報告されるとともに、一部は研究助成贈呈式において、令和 6 年度からは研究助成報告会において講演発表されています。いずれの成果も岡山県における学術および技術開発の進展に寄与しています。

本レターでは令和 8 年度の助成公募要項を案内しました。本年度から新たに大学院博士後期課程または相当する博士課程学生の萌芽研究への応募を可能としています。また企業等からの寄附金を原資とした学術交流推進事業の流れ図を掲載しています。ご参照の上、奮って応募ください。